



2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ダイレクトマーケティングミックス 上場取引所 東
コード番号 7354 URL <https://dmix.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表執行役社長CEO (氏名) 小林 祐樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役CFO (氏名) 土井 元良 TEL 06 (6809) 1615
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	5,945	△31.6	784	△52.0	774	△52.4	455	△57.6	455	△57.6	460	△57.2
2023年12月期第1四半期	8,686	△14.3	1,633	△39.4	1,623	△39.5	1,075	△38.0	1,075	△38.0	1,075	△36.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	9.90	9.80
2023年12月期第1四半期	23.16	22.52

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	25,483	13,430	13,430	52.7
2023年12月期	26,175	13,085	13,085	50.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	3.00	3.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	0.00	-	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△21.8	1,000	△18.1	1,000	△15.2	655	111.1	655	111.1	14.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	47,172,800株	2023年12月期	47,172,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	1,186,560株	2023年12月期	1,186,560株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	45,986,240株	2023年12月期1Q	46,406,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済を取り巻く環境は、経済活動の正常化が進んでいることから緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、国際的な情勢不安の長期化や、物価上昇、供給面の制約による影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当業界においては、アウトソーシング需要や、生活様式の変化及びDXの推進を背景とした新たなサービスへのニーズが継続しています。

こうした環境のもと、当社グループは、コロナ禍においては新型コロナウイルスワクチン接種関連業務の受託等、社会インフラとしての一翼を担ってきましたが、前連結会計年度以降、経済社会活動の正常化に伴いこうした需要は縮小しました。また、これらの需要が大きく縮小したことによりインバウンドビジネス全体の競争が激化し、足元でも当社の収益性に大きな影響を及ぼす状況が続いています。一方で、通信インフラからのアウトバウンド/ハイブリッドの業務受託は堅調に推移したほか、新たな事業領域の開拓も進みました。

加えて、成長戦略を推進するため、既存顧客の深耕や新規顧客の開拓に注力したほか、採算性の向上や低採算業務の見直しなどにより収益力アップに努めてきました。さらに、競争力の源泉である優秀な人材の確保、育成を図るため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を勘案した多様な勤務体系やオフィス環境の改善、独自の教育体制・評価体系の構築等、従業員が活躍できる環境づくりを進め、働きがいのある企業風土の醸成に取り組んでいます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益は5,945百万円（前年同四半期比31.6%減）、営業利益は784百万円（前年同四半期比52.0%減）、税引前四半期利益は774百万円（前年同四半期比52.4%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は455百万円（前年同四半期比57.6%減）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

(マーケティング事業)

既存顧客や新規顧客へ向けたアウトバウンド/ハイブリッドの業務受託が堅調に推移しました。一方、前連結会計年度以降、新型コロナウイルスワクチン接種関連の需要が大きく縮小したことによりインバウンドビジネス全体の競争が激化し、その影響は当第1四半期連結累計期間においても継続し、当社の収益性に大きな影響を及ぼす結果となりました。

この結果、マーケティング事業の売上収益は5,345百万円（前年同四半期比31.0%減）、営業利益は990百万円（前年同四半期比46.9%減）となりました。

(オンサイト事業)

収益性を重視した戦略を推し進めていますが、新型コロナウイルスワクチン接種関連の需要等が大きく縮小したことにより人材派遣ニーズは低調に推移しています。

この結果、オンサイト事業の売上収益は776百万円（前年同四半期比42.5%減）、営業利益は19百万円（前年同四半期比66.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

	前連結会計年度末 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減額 (百万円)
資産合計	26,175	25,483	△692
負債合計	13,090	12,053	△1,037
資本合計	13,085	13,430	345
資本（親会社の所有者に帰属する持分）	13,085	13,430	345

(資産の分析)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、25,483百万円となりました（前連結会計年度末は26,175百万円）。これは主に、営業債権及びその他の債権が691百万円増加した一方、現金及び現金同等物が698百万円及びその他の流動資産が435百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

（負債の分析）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、12,053百万円となりました（前連結会計年度末は13,090百万円）。これは主に、借入金が223百万円及びその他の流動負債が779百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

（資本の分析）

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、13,430百万円となりました（前連結会計年度末は13,085百万円）。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上等により利益剰余金が317百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ698百万円減少し、3,760百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、126百万円となりました（前年同四半期は379百万円の支出）。これは主に、税引前四半期利益が774百万円、減価償却費及び償却費が367百万円の計上、営業債権及びその他の債権の増加が691百万円及び法人所得税の支払額が185百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、79百万円となりました（前年同四半期は311百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が21百万円及び敷金及び保証金の回収による収入が94百万円それぞれ生じたこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、651百万円となりました（前年同四半期は3,282百万円の支出）。これは、長期借入金の返済による支出が225百万円、配当金の支払額が138百万円及びリース負債の返済による支出が288百万円それぞれ生じたことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は概ね計画どおりに推移しており、2024年2月13日に公表した通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,458,722	3,760,456
営業債権及びその他の債権	3,333,741	4,025,232
その他の流動資産	588,846	153,620
流動資産合計	8,381,309	7,939,308
非流動資産		
有形固定資産	1,628,263	1,545,537
使用権資産	2,236,900	2,181,978
のれん	11,390,547	11,390,547
その他の無形資産	698,387	682,199
繰延税金資産	237,703	239,203
その他の金融資産	1,574,348	1,485,159
その他の非流動資産	27,572	18,952
非流動資産合計	17,793,720	17,543,574
資産合計	26,175,029	25,482,883

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,686,633	2,590,705
借入金	1,897,599	1,897,869
引当金	59,420	59,420
未払法人所得税	185,182	321,880
その他の金融負債	999,382	974,784
その他の流動負債	1,608,098	829,366
流動負債合計	7,436,314	6,674,025
非流動負債		
借入金	3,830,616	3,607,737
引当金	621,182	621,551
その他の金融負債	1,197,729	1,146,191
その他の非流動負債	4,084	3,644
非流動負債合計	5,653,611	5,379,123
負債合計	13,089,925	12,053,147
資本		
資本金	2,184,626	2,184,626
資本剰余金	2,124,374	2,146,047
利益剰余金	10,916,546	11,234,044
自己株式	△2,000,457	△2,000,457
その他の資本の構成要素	△139,985	△134,524
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,085,104	13,429,736
資本合計	13,085,104	13,429,736
負債及び資本合計	26,175,029	25,482,883

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	8,686,301	5,944,943
営業費用	△7,046,505	△5,178,042
その他の収益	9,969	18,994
その他の費用	△16,971	△2,226
営業利益	1,632,794	783,671
金融収益	1,064	1,029
金融費用	△10,364	△11,130
税引前四半期利益	1,623,495	773,570
法人所得税費用	△548,929	△318,113
四半期利益	1,074,566	455,457
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,074,566	455,457
四半期利益	1,074,566	455,457
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	23.16	9.90
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	22.52	9.80

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益	1,074,566	455,457
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	—	4,757
純損益に振り替えられることのない 項目合計	—	4,757
その他の包括利益合計	—	4,757
四半期包括利益	1,074,566	460,214
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,074,566	460,214
四半期包括利益	1,074,566	460,214

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2023年1月1日現在	2,099,058	2,086,802	11,404,796	△536
四半期利益	—	—	1,074,566	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	1,074,566	—
新株予約権の増減	7,771	7,771	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	21,812	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△1,999,921
剰余金の配当	—	—	△798,260	—
所有者との取引等合計	7,771	29,583	△798,260	△1,999,921
2023年3月31日現在	2,106,829	2,116,385	11,681,101	△2,000,457

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計	資本合計
	新株予約権	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	合計		
2023年1月1日現在	29,649	△34,710	△5,061	15,585,059	15,585,059
四半期利益	—	—	—	1,074,566	1,074,566
その他の包括利益	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	—	1,074,566	1,074,566
新株予約権の増減	△20	—	△20	15,521	15,521
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	21,812	21,812
自己株式の取得	—	—	—	△1,999,921	△1,999,921
剰余金の配当	—	—	—	△798,260	△798,260
所有者との取引等合計	△20	—	△20	△2,760,848	△2,760,848
2023年3月31日現在	29,629	△34,710	△5,081	13,898,777	13,898,777

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2024年1月1日現在	2,184,626	2,124,374	10,916,546	△2,000,457
四半期利益	—	—	455,457	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	455,457	—
新株予約権の増減	—	—	—	—
譲渡制限付株式報酬	—	21,674	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△137,959	—
所有者との取引等合計	—	21,674	△137,959	—
2024年3月31日現在	2,184,626	2,146,047	11,234,044	△2,000,457

	その他の資本の構成要素			親会社の所有者 に帰属する持分 合計	資本合計
	新株予約権	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	合計		
2024年1月1日現在	31,530	△171,514	△139,985	13,085,104	13,085,104
四半期利益	—	—	—	455,457	455,457
その他の包括利益	—	4,757	4,757	4,757	4,757
四半期包括利益合計	—	4,757	4,757	460,214	460,214
新株予約権の増減	703	—	703	703	703
譲渡制限付株式報酬	—	—	—	21,674	21,674
自己株式の取得	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△137,959	△137,959
所有者との取引等合計	703	—	703	△115,582	△115,582
2024年3月31日現在	32,233	△166,758	△134,524	13,429,736	13,429,736

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,623,495	773,570
減価償却費及び償却費	384,047	366,678
固定資産除売却損	16,298	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,686	△412
金融収益	△1,064	△1,029
金融費用	10,364	11,130
株式報酬費用	23,476	26,823
有給休暇引当金	△81,858	△72,330
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△284,275	△691,079
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,122,165	△81,874
賞与引当金の増減額 (△は減少)	233,612	144,732
その他	18,901	△411,193
小計	823,516	65,016
利息の受取額	35	24
利息の支払額	△5,244	△6,283
法人所得税の支払額	△1,197,786	△185,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	△379,479	△126,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,443	△20,832
投資有価証券の取得による支出	△299,803	—
敷金及び保証金の差入による支出	△162	—
その他	19,970	99,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,438	78,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△193,330	△225,001
配当金の支払額	△798,260	△137,959
新株予約権の行使による収入	13,858	—
自己株式の取得による支出	△1,999,921	—
リース負債の返済による支出	△304,806	△287,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,282,459	△650,665
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,973,376	△698,265
現金及び現金同等物の期首残高	7,608,309	4,458,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,634,933	3,760,456

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「マーケティング事業」、「オンサイト事業」の2つを報告セグメントとしています。なお、報告セグメントを形成していない事業セグメント及び集約した事業セグメントはありません。

「マーケティング事業」においては、主に以下の事業を行っています。

① ダイレクトマーケティング

自社で運営するコンタクトセンターにおける当社グループのコミュニケーター（顧客企業のエンドユーザーとダイレクトマーケティングチャンネルを通じた直接の対話を行う当社の人材）による電話コンタクト、直接訪問、Webコンタクト等のチャンネルを通じて、顧客企業に代わってエンドユーザーに対し商品・サービスのセールス、訪問のためのアポイントの獲得等を行っています。取扱商品・サービスの具体例として、当社の主要ターゲット市場のひとつである通信インフラセクターにおいては通信回線（固定通信、移動通信）や通信端末、その他付随サービスのセールス等を行っています。また、DX進展の中で登場している多様なサービス事業者の営業・マーケティング機能を担うことで、新たなデジタルサービスの社会実装にも貢献しています。

② コンサルティング

ダイレクトマーケティングを通じて蓄積した情報資産を活用し、顧客企業の課題や目的に合わせた営業・マーケティング戦略について、戦略及び計画の策定からシステムの構築、実際の運用に至るまで多岐にわたるコンサルティングを実施しています。また、コンタクトセンターの運用や商品開発に関する助言、営業部門の人員に対する研修、市場調査など幅広いサービスの提供も行っています。

③ ビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）

顧客企業の営業・マーケティング活動に関連する付随業務や、インバウンド型のコールセンター（カスタマーセンターなどエンドユーザーからの受電等を行うコールセンター）、事務作業など、自社で抱えているとコストや工数がかかる業務の一括代行により、煩雑な作業の省力化・簡素化をサポートする業務を行っています。具体例として、エンドユーザーと顧客企業間での契約締結事務等の代行や、ダイレクトメール等のプロモーションメディアにかかる業務代行等を実施しています。また、金融機関や地方自治体を含む様々なクライアントのカスタマーサービスやオンライン窓口等の受託、医療分野等における有資格者による専門BPOセンターなど、各方面へのサービス拡充に注力しています。

(注) プロモーションメディアはマスメディア、インターネットを除く他メディアを指します。

「オンサイト事業」においては、人材派遣事業として、顧客企業の営業・マーケティング部門のほか、当社グループ企業のマーケティング事業向けにコミュニケーター等の派遣を行っています。

「調整額」には、セグメント間取引の消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれていません。全社費用には管理・監督を行う当社（持株会社株ダイレクトマーケティングミックス）の費用が含まれています。

(2) 報告セグメントに関する情報

セグメント間の取引は、市場実勢（第三者取引）価格に基づいています。

なお、財務費用などの営業損益に帰属しない損益は報告セグメントごとに管理していないため、これらの収益又は費用はセグメントの業績から除外しています。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	7,744,587	941,714	—	8,686,301
セグメント間収益	—	408,276	△408,276	—
売上収益合計	7,744,587	1,349,991	△408,276	8,686,301
セグメント利益 (注) 2	1,862,856	57,240	△287,301	1,632,794
その他の損益				
減価償却費及び償却費	368,194	2,515	13,338	384,047
金融収益	878	1	185	1,064
金融費用	△2,575	—	△7,788	△10,364
報告セグメントの税引前四半期利益	1,861,158	57,241	△294,905	1,623,495

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,301千円には、セグメント間取引消去△2,933千円及び報告セグメントに帰属しない営業費用△284,413千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

	マーケティング事業	オンサイト事業	調整額 (注) 1	(単位：千円) 連結
売上収益				
外部収益	5,345,493	599,450	—	5,944,943
セグメント間収益	—	176,226	△176,226	—
売上収益合計	5,345,493	775,677	△176,226	5,944,943
セグメント利益 (注) 2	989,628	19,428	△225,386	783,671
その他の損益				
減価償却費及び償却費	359,785	3,235	3,657	366,678
金融収益	876	1	152	1,029
金融費用	△2,454	△212	△8,464	△11,130
報告セグメントの税引前四半期利益	988,050	19,218	△233,698	773,570

(注) 1. セグメント利益の調整額△225,386千円には、セグメント間取引消去21,150千円及び報告セグメントに帰属しない営業費用△260,994千円が含まれています。

2. セグメント利益は営業利益で表示しています。